

令和7年度
女子栄養大学大学院 修士課程 第1期 入学試験問題

受験番号

小論文

(問題) 下記1～3の課題の中から1題を選び、800字以上1200字以内で論じなさい。

(解答用の原稿用紙の書き始めに、選択した課題の番号を記入しなさい。)

1. 国連の持続可能な開発目標(SDGs)は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。私たちの暮らす社会には様々な課題があり、それらを解決して持続可能な社会を築く必要がある。それぞれの課題は、以下に示すSDGsの複数の目標に関わっており、社会、経済、環境の3側面から統合的に解決を目指していかなければならない。

そこで、今の社会において、あなたが考える持続不可能な状況にある社会の課題を挙げなさい。さらに、それを解決し、持続可能な状況にしていくためのいくつかの方策について述べなさい。



(出典：持続可能な開発目標，外務省 国際協力局 地球規模課題総括課，令和6年5月，p. 2)

2. 遺伝子組換え作物を利用することのメリットとデメリットおよび環境への影響について、論じなさい。

3. 近年における様々な分野での女性の進出・活躍は目覚ましいものがある。特に長年に渡り男性優位だった分野においては、その注目が著しい。

2003年当時の政府は、2020年までに指導的地位の女性を世界水準並みの30%と掲げたが、結果は13%台に留まった。そして、男女共同参画の重点方針を『女性版骨太の方針2023』として、2030年までに30%にする目標を打ち出し、さらに中間的に2025年までには女性役員19%と追加発表もした。しかし、2022年時点での海外の女性役員比率の平均は日本を除くG7で39%、OECD加盟国で30%、日本の上場企業で11%であった。

このような現状を踏まえ、女性進出についての賛否と推進に対する課題について、述べなさい。